



島根県川本町

かわもと

「やってみたい!」を  
地域でかなえる

あそラボ

長期インターン募集パンフレット





# 『かわもと あそラボ』とは？

コミュニティカフェ「オレンジ」を活動拠点とした、多世代交流ができる地域活動グループです。「あそラボ」インターンや地域住民のサポートのもと、島根中央高校や川本中学校の生徒たちが中心となってカフェ運営や野菜の栽培・販売など、子どもたちの「やってみたい！」を実現する活動を行っています。

## 活動紹介

過去の活動の様子をホームページで紹介しています。

### サードプレイス



遊んだり、話したり、何かを作ったり…。それぞれが思うままに過ごしています！



#今日は何する #遊ぶ #話す #作る

### 勉強



友達同士教え合ったり、先輩や大学生に教わったり。遊びも勉強も頑張っています！



#勉強で深まる関係性 #教える #教わる

### 交流



年代の違いだけでなく、町内、町外、県外、国外と様々な人たちとの交流の機会があります！



#交流が交流を呼ぶ #多様性 #協働性

### ルールバイクイベント



廃線になった駅を活用したイベントでキッズコーナーを運営！稼いだお金でお昼をまかっています！



#地域活性 #稼ぐ

### まちセンマルシェ



キッズコーナーの運営はもちろん、主催者や他の出店のお手伝いをしてイベントを支えています！



#子どもたちの底力 #未来の担い手

### サマチャレ



小学生向けのプログラムを、ボランティアスタッフと一緒に楽しみながらサポートしています！



#自然を #季節を #五感で楽しむ

### 自主イベント企画・運営



カードゲームやe-sportsなど、好きな遊びを大会や体験会として組み立て、イベントを開催しています！



#遊びの社会化 #遊んで学んで

### ベンチャーキッズスクール



中高生たちが補助金の申請書作りから運営まで、ハイレベルに小学生対象のプログラムを実施しています！



#底知れない中高生 #大人顔負け

### あそラボファーム



耕作放棄地を開墾して野菜を育てています！できたものは、料理やイベントの景品に使っています！



#鳥獣害を乗り越え #n次産業



かわもと あそらぼ  
代表

## 大村 信望

神奈川県出身。川本町地域  
おこし協力隊を経て起業。  
「かわもと あそらぼ」の立ち  
上げに携わり、現在に至る。

## 「好きなこと、得意なこと、やりたいことは何ですか？」 「どんなときに喜んで、どんなときに悲しみますか？」

価値観が多様化し複雑化する時代の中、自分らしく生きるためには、自分の価値観に気づいていることが大切です。自分の気持ちに素直になって、心から「やってみたい！」と思えることにチャレンジできるよう地域でサポートしていくこと。それが、『自分を知り、仲間を知り、地域を知る。自分を大切に、仲間を大切に、地域を大切に』そんなひとを育てることにつながるのでは…。そんな思いを抱きつつ、話したり、遊んだり、考えたり、動いたり…。子どもたちと一緒に楽しみながら活動しています！

子どもたちの「やってみたい！」をサポートすることはもちろんですが、自分の「やってみたい！」にチャレンジしたい、「ひとづくり」や「まちづくり」に関するチャレンジをしたい等々。「あそらぼ」には、中高生に限らず、チャレンジする人の背中を押す文化があります。子どもの成長の後押しだけでなく、自身の成長にも意欲を持つ学生さん。一緒に、自分らしいチャレンジをしてみませんか？

## 『かわもと あそらぼ』から紡がれるつながり

『かわもと あそらぼ』は、島根県の「ふるさと人づくり推進事業」の一環として立ち上げました。このプロジェクトは、子どもたちの主体的な活動を、地域の大人が支え、幅広い世代のつながりの中で、子どもたちの放課後の学びを応援するものです。

中高生が中心となり、町の商店街にあるコミュニティカフェ「オレンジ」を活動拠点として、自分たちのやってみたいことに楽しみながら挑戦していきます。

ここでは、学校での学びやこれまでの経験が生かされたり、実践できたりする場にもなっており、一人でじっくり考えたり、仲間と一緒に会話を楽しんだりすることができます。

大学生にとっては、自分の特技や持ち味が活かされる出番があり、活躍の場にもなっています。子どもたちに頼られることで、自然と絆も深まり、誰もが笑顔で安心して活動できます。



キーワードは、時間と手間をかけながら、「プロセスを楽しむ」。世代を越えたつながりの中で、「遊び」「楽しむ」気持ちを大切にしながら、地域の中で子どもたちの生きる力を育む取り組みにチャレンジしてみませんか。

### 視察等受入 令和4年度の実績

- ・ 4月 5日（火）津和野町教育委員会から9名、視察受入
  - ・ 6月20日（月）横田高等学校から5名、視察受入
  - ・ 7月31日（日）～ 8月 6日（土）島根県立大学から1名、短期インターン生を受入
  - ・ 10月 1日（土）青山学院大学から6名、視察受入
  - ・ 10月21日（金）～ 22日（土）広島大学から7名、視察受入
  - ・ 11月18日（金）～ 19日（土）島根県立大学から3名、ゼミ実習として訪問
  - ・ 11月25日（金）～ 26日（土）島根県立大学から6名、ゼミ実習として訪問
  - ・ 2月17日（金）福島県石川町から2名、視察受入
  - ・ 2月21日（火）松江教育事務所から8名、視察受入
- ・島根中央高校オープンキャンパスでの活動紹介







## 自分の考えを行動に移す

松下 蒼一郎

島根県立大学総合政策学部在籍  
香川県丸亀市出身  
令和4年4月～令和5年3月着任

## 応募のきっかけは何ですか？

「あそラボ」は、自分の得意なことを発揮できる場所であると思ったからです。自分が中高生の時に感じていた「挑戦したいけど、やり方が分からない」という思いや、いざ新しいことに挑戦しても、周りから後向きな意見を受けて諦めてしまったという経験から、そういったことで悩んでいる中高生たちに同じ思いをしてほしくないと思っていました。「あそラボ」は、そんな自分の思いが実現できる場所であると、代表の大村さんや普段の活動を通して感じる事ができたので、大学を1年間休学してインターンをする事を決めました。

## 周りの反応はどうでしたか？

初めて休学をしてインターンをする時話したときにはいろんな人に驚かれました。当時の自分が「あそラボ」について深く理解しているわけではなかったので、何も知らない両親にはあまり正確には説明できていなかったと思います。ですが、話したときには既に自分の中の意思は固まっていたので、反対されても行くつもりでした。そんな気持ちが伝わったのか、きちんと卒業することを条件にインターンを始められました。



## 「あそラボ」での一番の思い出は何ですか？

中高生たちに、サプライズで誕生日を祝ってもらったことです。同じ大学生インターンの鳥飼くんを中心に準備をしてくれていたみたいで、今思い返しても、これまでで一番嬉しかった誕生日だったと思います。自分がこれまでに構築してきた中高生たちとの関係性が、このような形で表現されたことは、大学生が「あそラボ」にいる価値があったという、ある一つの根拠になるんじゃないかなと思っています。



## 現在とこれからについて

現在は復学と就職活動に向けて卒業論文の構成を考えたり、自己分析や企業分析をしたりしています。どちらも中高生たちの目につく「あそラボ」で行っているの、興味を持っている質問してくれたり、応援してくれたりします。来年度からは川本町を出て大学に復学します。就職活動が終わったら、長期インターン始める前のように「あそラボ」に遊びに行ったり、町のイベントに卒業まで関わったりしていきたいと思っています。

## インターンを目指す人に伝えたいこと

川本町は自分が成長するための環境が整っています。そして、「あそラボ」は成長したいと思う中高生だけでなく、大学生も応援してくれる場所です。「あそラボ」でインターンをする明確な目的がある人はもちろんですが、そうでない人も、「あそラボ」でのインターンを通して自分が大学生のうちにやりたいことを見つけたり、将来やりたい自分のために活動したりして欲しいと思います。

## 現役インターンの一日







## 地域でやりたいことを 見つけるために、再び 川本町に戻ってきました！

烏飼 響

大正大学地域創生学部在籍  
香川県坂出市出身  
令和4年4月～令和5年3月着任

### 応募のきっかけは何ですか？

東京の大正大学地域創生学部に進学したのですが、コロナ禍で実習や地域に出て活動することができませんでした。ベストな学びができず、地域を学びたいという目的が分からなくなってしまっていました。帰省した時に、父にこのことを相談しました。そんな状態で、大学生の時間と学費を無駄にたくないという父と僕の意見の一致で、父から休学を提案されました。

しかし、せっかく休学するのなら、長期のインターンがしたいと思い、高校の時に世話になった当時学生寮のコーディネーターだった大村さん（現「あそラボ」代表）に連絡をしました。そうしたら、ちょうど長期インターンを募集していると言われ、自分が地域でやりたいことを見つけるために、再び川本町に戻って長期インターンをするという経緯になりました。

### 周りの反応はどうでしたか？

父からは、もっと新しい経験をたくさんして欲しいという思いで、高校の時にいた川本町に戻ってインターンをするのは、最初は反対されていました。



高校卒業ぶりに川本町に戻って再会した高校の先生や地域の大人の方には「久しぶり！戻って来てくれたんだ！」と、とても歓迎してもらえました。

自分でイベントを企画したり、1年間自分が楽しく過ごしたりしている姿を見て、最初は川本町に戻ることを反対していた父も「自分のやりたいことを実現できてよかったね！」と認めてくれました。

### 「あそラボ」での一番の思い出は何ですか？

大学生インターンの松下さんのサプライズ誕生会を企画した時です。この企画が僕の人生で初めての企画でした。松下さんにバレないように、中高生たちと協力しながら、準備を進めるのは大変でした。しかし、中高生たちも寄せ書きを書いた色紙を準備し、僕が指示しなくても自発的に行動してくれて、中高生たちの成長を実感でき、自分にとっての刺激になりました。

### 現在とこれからについて



今年度、「あそラボ」インターンを通して、中高生や地域と関わり、自分の趣味であるサウナをアウトドアイベントとして企画することもできました。

来年度から、大学に復学し地域を盛り上げる仲間を作って、実際にいろいろな地域を回りながら各地域の取り組みを学びたいと思います。

また、川本町に関わっていきたくて考えています。

### インターンを目指す人に伝えたいこと

地域の方と関わりながら、自分と向き合う一年にしませんか？やりたいことを地域で中高生たちと叶えていきましょう！

## 新人インターン紹介



開本 恭代

島根県立大学総合政策学科総合政策学部  
愛媛県松山市出身  
令和5年4月～令和6年3月着任予定

### 応募のきっかけは何ですか？

大学のゼミ、ラボの活動で「あそラボ」を知りました。実際に「あそラボ」に行き、イベント等にも参加しました。中高生が来たいと思える居場所があることが素敵だなと感じました。「あそラボ」は、中高生との交流を通して自分自身が成長できる場だと感じたので応募しました。

### インターン中の目標は？

積極的に行動すること、自分ができることを精一杯行うことです。私がやりたいと思ったことや中高生のやりたいことを形にしていきます。インターンを通して川本・島根の良いところ、私や川本町の皆さんの良いところをたくさん発見していきます。



## 『あそラボ』と『川本町』

地域で行われる様々なイベントのサポートに入ったり、自分たちで新しい企画を考え、地域の人たちと一緒に活動を楽しんだりしている「あそラボ」の子どもたち。

川本町の人たちは、「あそラボ」で活躍している町内の子どもたちや、関わっている大学生にどんな思いを寄せ、どんなことを期待しているのか、町の皆さんに聞いてみました。

### 「あそラボ」活動への町民の声



川本町観光協会  
大久保 一則

私たち観光協会は様々なイベントを企画する際、「あそラボ」に必ず相談しています。それは「あそラボ」が無数の可能性を秘めた力を持っているからです。

廃線跡地を利用した“レールバイク”イベントでは、「あそラボ」が縁日コーナーを開いてくれ、多くのお客様に喜んでいただいています。これらイベントを開催する上で大学生が、子どもたちと地域を繋げるパイプとなり、大活躍してくれます。

このように、インターンでは子どもたちはもちろん、様々な経験を持つ地域の大人と関わることも必須であり、現代社会で必要となるコミュニケーション能力を幅広い分野で身につけることができます。

人口3,000人の小さな町だからこそできる挑戦がここにはあり、人生の視野を広げる絶好のチャンスです。是非、私たちもそのお手伝いをさせてください。お待ちしております。

三原まちづくりセンターでは、年に2回マルシェを開催しています。当初は、スタッフ手作りの小さなイベントとしてスタートしたこの企画。

「あそラボ」の中高大学生がボランティアとして参加して下さるようになってから、一気に花が開いたようになりました。教育委員会のバックアップもあり、世代を越えて様々な人がいろいろなことに挑戦できる場となっています。

学校の授業の職場体験や探究学習で来られた生徒さんが、再びボランティアとして来てくださり、嬉しい気持ちでいっぱいになります。小さな町の中での交流を別の大きな何かへと進化させていくような、そんなワクワク感を「あそラボ」の皆さんから感じています。



三原まちづくりセンター  
柴原 かな

僕は部活動終わりに「あそラボ」へ来ています。「あそラボ」では高校生の話を聞いたり、一緒に遊んだりして楽しんでいます。大学生とは趣味の話で盛り上がり、勉強を教えてもらったりしています。大学生は地域でイベントを起こして町を活気づけたり、小学生の扱いが上手かったり、すごいなと感じています。

また、大学生と関わる前は将来のことを全く考えてなかったのですが、普段の大学生との会話の中で、将来のことを考えるようになったり、大学生になりたいと思うようになりました。大学生に教わりながら、地域イベントの企画にチャレンジしてみたいなと思っています。



川本中学校生徒

私は、学校終わりの『癒しの場所』として「あそラボ」を活用しています。小学生から大学生、地域の方など、幅広い年齢層の方々が「あそラボ」に来られるので、その方々との交流をすることがとても楽しく、癒されます。「あそラボ」を知る前は、感情を表に出すことが怖かったのですが、「あそラボ」を知り、大学生の方々と関わるうちに、感情を表に出すことが怖くなくなり、自分の感情を偽ることなく、素でいろいろな方々と接することができるようになりました。

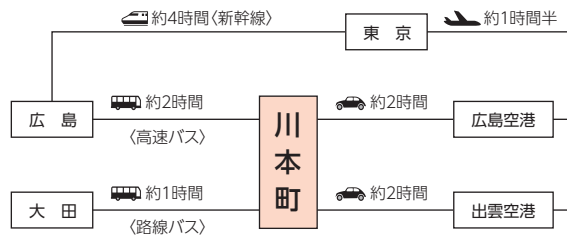
私は、「あそラボ」に関わりたいたいと思って下さる大学生の方なら、どなたでも来て欲しいなと思います。「あそラボ」を今まで以上に良いものにして下さることを願っています。



島根中央高校生徒



## 川本町インフォメーション



### 車を利用する場合

広島市街から約1時間45分(浜田道「大朝IC」経由)  
出雲市街から約1時間30分／浜田市街から約1時間30分

### 公共交通機関をご利用の場合

JR山陽本線「広島駅」より高速バス(石見銀山号)  
JR山陰本線「大田市駅」より路線バス(石見交通)

### 川本町の人口(令和4年12月現在)

人口	女性	男性	世帯数	65歳以上	15歳未満
3,078人	1,616人	1,462人	1,621世帯	1,389人	283人

### 川本町の保育・教育環境

島根中央高等学校  
川本中学校  
川本小学校  
川本保育所  
因原保育所  
川本北保育所

### 島根中央高等学校

県外生  
**77人**  
生徒数  
**214人**  
(令和4年5月現在)

### 全国約100校から集まる生徒たち

様々な地域文化で育った生徒が集まる島根中央高校は、卒業してから生きていく一般社会の縮図でもあります。多様な価値観やモノの見方、考え方に触れることで、生徒たちは自分を振り返り、他者を認め、互いに尊重し合う姿勢を身につけています。

## 川本町を体験してみよう

川本町では、四季折々に姿を変える豊かな自然を活かして、年間たくさんのイベントが開催されます。

「あそらポ」は、町の教育委員会などが主催する様々なイベントに、ボランティアスタッフとして関わったり、イベントの企画や運営に携わったり、出店を行ったりしています。

これらのイベント開催に合わせて、「あそらポ」の見学会や体験会もできますので、興味のある方は、遠慮なくお問い合わせください。

「あそらポ」が関わっている町の主なイベント

- 4月 第1回 かわもとぼかぼか親子プロジェクト
- 5月 レールバイクイベント
- 6月 第3回 かわもとぼかぼか親子プロジェクト
- 7月 ええなあまつりかわもと
- 8月 サマーチャレンジウィーク5日間
- 9月 レールバイクイベント
- 10月 レールバイクイベント
- 11月 第44回 川本町産業祭
- 12月 イルミネーション点灯式
- 3月 レールバイクイベント



# インターンシップ募集要項

**活動内容** 「かわもと あそラボ」の運営、イベントの企画・実施、地元中高生を対象とした活動支援、コンテンツ作成・発信 など

**活動場所** 島根県邑智郡川本町大字川本635-2  
コミュニティカフェ「オレンジ」

**活動期間** 2024年4月1日～2025年3月31日  
※多少の前後は応相談

**活動時間** 平 日 15:30～19:30  
土日祝 13:00～19:00  
※時期によって活動時間が変更となる場合あり  
土日祝は地域行事への参加がある場合あり  
週20時間程度（4～5日/週）



▲コミュニティカフェ「オレンジ」

**必須条件** 現役大学生及び大学院生で  
活動期間中に川本町に居住できる方

**募集人数** 若干名

**生活支援** 活動に応じて支援金の給付  
家賃・駐車場代全額補助  
(川本町内の居住物件を提供します)

随時対応しています  
「あそラボ」HPから応募してください



募集要項



Web説明会  
申し込み



## お問い合わせ先



川本町教育委員会  
島根県邑智郡川本町大字川本332-15  
Tel: 0855-72-0594 (平日9:00～17:00)  
かわもと あそラボ  
島根県邑智郡川本町大字川本635-2  
E-mail: hello@asolab.jp (担当:大村)



HP



facebook



Instagram



YouTube